



体調は  
どうですか？

↑浅雄ケアマネジャー(写真右)の訪問を受ける池田さんご夫婦(写真左)【落合地域】

## 利用者の思いに寄り添う 居宅介護支援

今回紹介する「居宅介護支援」は、ご利用者が自宅で安心して生活が送れるよう、介護支援専門員(ケアマネジャー)が介護についての相談や手続きを行うサービスです。

社協の居宅介護支援事業所は、落合と湯原の2か所にあり、6名のケアマネジャーが配置されています。市内全域でサービスを提供しており、利用者は185名です(令和3年7月31日現在)。

居宅介護支援サービスを利用している池田さんご夫婦と、担当の浅雄ケアマネジャーにお話を伺いました。

### ★介護サービスを利用するきっかけ

2年前、主人が腰部脊柱管狭窄症になり、手術をしました。体を動かすことが難しくなり、リハビリが必要となったため、介護サービスの利用を始めました。

### ★浅雄ケアマネジャーへの相談

よくお世話をしてくれるので、介護のことだけでなく、生活の悩みなど、いろいろなことを相談しています。2人暮らしなので、頼りにさせてもらっています。主人が入院した際、コロナで面会ができませんでしたが、浅雄ケアマネジャーが病院に主人の様子を聞き、教えてくれたので安心できました。

### ★周りの人に支えられている介護

家を留守にする際、近所の方へ主人の様子を見てほしいとお願いしています。近くに住んでいる息子や娘もよく来てくれます。みんなに支えられて介護できていると思います。

### ★生活の中の楽しみ

妻の運転で毎日2人でドライブに出かけ、車の中から景色を眺めたり、お弁当を食べたりすることが楽しみです。

また、これまで別々のテレビでそれぞれ番組を見ていましたが、今は同じテレビ番組を見るようになり、「介護をしながら2人で過ごす時間が増えて良かった」と妻も言ってくれます。

### 池田さんを担当している居宅介護支援南事業所 浅雄 多江子ケアマネジャー

訪問する際、大切にしていることは、ご利用者やご家族の話をよく聞くことです。どんなことでも話していただけるよう、笑顔で話しやすい雰囲気づくりを心がけています。

ご主人の担当をしていますが、奥さんの話もしっかりお聞きしています。2人の意見を大切に、ご夫婦が楽しく過ごせるよう努めています。

居宅介護支援サービスのご利用は、  
要支援・要介護の認定が必要です。



活動報告!!

「夏のボランティア体験」



↑湯原こども園で掃除に取り組む生徒達

7月～8月の夏休み期間、夏のボランティア体験事業に中学・高校生134名が参加しました。参加者は保育園、こども園、子育て支援団体、高齢者・障がい者施設など、12か所の受け入れ先でボランティア活動に取り組みました。

ボランティア体験に参加した生徒と受け入れ先の方に、活動の様子をお聞きしました。

北房こども園(北房)

北房中学校3年 高森 洸佑さん

以前ボランティアに来て楽しかったので、子ども達のために何かできることはないかと思い、今回参加しました。思っていた以上にこども園の仕事を手伝えて、やりがいを感じることができました。

北房中学校3年 森本 陽大さん

母がこども園で働いているので、少しでも手伝いができたらと思いい参加しました。掃除・消毒など、いろいろなことができたので良かったです。

北房こども園 若田 美香 保育教諭

コロナ禍のため、子ども達とふれあえないのが、子ども達にも生徒達にも残念でしたが、自分達にできることがあればと積極的にボランティアに参加してくれました。限られた活動の中でも、保育士になりたい、人の役に立ちたいという声が聞けて嬉しかったです。



↑子ども達が安心して遊べるよう、おもちゃの消毒を行いました

社会福祉協議会本所(久世)

久世中学校3年 千後 天羽さん

お年寄りの方に喜んでもらえたらと思いい、はがき作製のボランティアに参加しました。一つひとつ文章を変えたり、絵を書いて工夫できました。しんどい、つらいのは自分だけではないよという思いを伝えることができました。

久世中学校3年 中西 琴羽さん

お年寄りの方がはがきをもらった時に、どんなはがきが嬉しいかなと想像しながら作りしました。

久世中学校3年 濱本 爾さん

絵や字を書くのが苦手ですが、もらった時に元気が出るはがきになればいいなと思って書きました。

社会福祉協議会本所 池奥 和子 専門員

コロナ禍で交流が少なく、お便りで元気を届けようと、ひとり暮らしの高齢者にはがきを書きました。参加した生徒からは、「ひとり暮らしの高齢者が多くいらつしやるのがわかった」などの感想が聞けました。はがきを受け取られた方はきつと喜んで下さると思います。生徒の皆さん、ありがとうございます。



↑ひとり暮らし高齢者へはがきを書きました。

月田保育園(勝山)

勝山中学校2年 山根 凜音さん

月田保育園は自分が通い、お世話になった保育園です。先生達がしてくれたことを体験したいと思いい、参加しました。初日は何をしようか緊張しましたが、コロナ感染対策で床やおもちゃの消毒をしました。作業は子ども達のことを考え、丁寧にしよう心がけました。3日間ボランティア活動をしてみて、先生方の大変さが分かりました。

月田保育園 坂本 晃子 園長

コロナ禍のボランティア活動のため、直接子ども達とふれあう体験はできませんでしたが、園児が安心して過ごせる環境整備を熱心してくれました。暑い中、普段、私達が手の届かない作業一つ一つを一生懸命に取り組んで下さりありがとうございます。人の役に立つことができ、気持ちが良いなと感じ、嬉しく思いました。



↑コロナ感染防止対策でおもちゃを丁寧に消毒する生徒達

樋口 博司(仲高槻市 香典返し)	【湯原支所】	正田 和司(月田 忌明け)	正田 和司(月田 香典返し)	矢鳴 善徳(月田 見舞返し)	近藤 廣志(月田本 香典返し)	柴田 賀章(岩井谷 香典返し)	【勝山支所】	岸 雅美(下方 香典返し)	藤澤 光行(栗原 見舞返し)	湯浅 則宏(下方 香典返し)	井田 正則(鹿田 香典返し)	飯嶋 義晴(鹿田 香典返し)	山本 素子(西原 香典返し)	【落合支所】	志田 光正(上水田 香典返し)	(株)ミヤタライフサービス	金丸 和弘(宮地 香典返し)	中山 進(上皆部 香典返し)	藤井旭出夫(下中津井 香典返し)	岩城 和子(下皆部 見舞返し)	【北房支所】	合計 四十七万三千元	寄付金 七月三十一日
------------------	--------	---------------	----------------	----------------	-----------------	-----------------	--------	---------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	--------	-----------------	---------------	----------------	----------------	------------------	-----------------	--------	------------	------------

皆さまの善意が福祉活動に活かされています  
**善意銀行だより** [敬称略・受付順]  
 ※真庭市社協への個人からの寄付は税額控除対象となります。

**善意銀行とは？**  
 地域の皆さまからの「篤志寄付・見舞返し・香典返し・忌明け」など、善意のご寄付をいいます。ご寄付は、「ふれあいいきいきサロン」の推進、福祉車両や福祉機器の無料貸出、地域福祉活動の支援、生活困窮者の支援など、社協の福祉活動に活かされます。

**寄付方法**  
 最寄りの社協へお越しいただき、備え付けの申込書にご記入していただきます。



佐藤 博子(粟谷 香典返し)	濱子 尚美(下湯原 香典返し)	【八束支所】	中村 貢易(森山下長田 香典返し)	真壁 宜美(森山下長田 香典返し)	【川上支所】	進 潤子(森山下見 香典返し)	山口 大治(森山本郷 忌明け)	佐藤 聡(森山西郷 忌明け)
----------------	-----------------	--------	-------------------	-------------------	--------	-----------------	-----------------	----------------

**令和3年度 ふるさと会員一覧**  
 [敬称略](7月31日)

杉山 哲昭(津山市)

善意銀行へのご寄付、ならびにふるさと会員へのご協力ありがとうございました。

**心配ごと相談所(9月の予定)**

北房(真庭市役所北房振興局)	22日(水)	9時~12時	※相談無料、予約不要です。 お気軽にご相談ください。 ※秘密は固く守られます。 電話 (0867)42-1005 FAX (0867)42-2263
落合(落合老人福祉センター)	9日(木)		
久世(真庭市役所本庁舎)	22日(水)		
勝山(勝山保健福祉センター)	3日(金)		
湯原(湯原保健福祉センター)	16日(木)		
中和(中和デイサービスセンター)	3日(金)		



**真庭市社会福祉協議会「第4次地域福祉活動計画」を策定します**

今年度「第3次地域福祉活動計画(平成29年度~令和3年度)」の推進状況及び評価を行い、「第4次地域福祉活動計画(令和4年度~令和8年度)」を策定します。  
 「すべての市民が安心して暮らせる地域社会の実現をめざします」という基本理念のもとに地域福祉を推進します。

**「第4次地域福祉活動計画」策定までの流れ**

6月~9月 7月 令和4年2月 3月

第3次計画の評価(事務局、評価委員会) → ニーズ調査(アンケート・聞き取りなど) → 計画(案)作成(策定委員会) → パブリックコメント(意見募集) → 第4次計画完成

**~地域福祉活動計画ってなに?~**  
 地域の生活・福祉課題の解決や地域の支えあいの実現に向けた取り組みの方向性を示した行動計画(アクションプラン)です。住民の皆さんや、福祉関係団体、民生委員・児童委員、ボランティア等と社協が作成します。真庭市の「地域福祉計画」と整合性を保ち、一体的に地域福祉を推進します。

**~アンケートや計画策定にご協力ください~**  
 策定にあたり、地域の皆さんにアンケートや聞き取り調査、座談会など様々な形でご意見等を聞かせていただきます。ご協力をお願いします。



# サロンの集いを開催しました!!

湯原地域から  
こんにちは!

藤井勇汰 専門員

8月5日(木)、湯原保健福祉センターでサロンの集いを開催しました。湯原地区のふれあいいきいきサロンの担い手やサロン未設置の自治会の方を対象に行いました。この集いは、サロン活動の活性化を目的に毎年実施しており、この日は13名の方が参加されました。

4月から社協と真庭市が一体的に進めている「ふれあいいきいきサロン」について、活動内容等の説明を行った後、湯原でささえあいデイサービスを行っている「みなくろのハウス」代表の辻祐子さんから、活動の発表をしていただきました。「体操だけでなく見守りや介護予防もできる集いの場になっている」とお話がありました。

また、真庭市地域包括支援センターの清水理学療法士から、サロンで取り組める運動を教えてくださいました。自力で立つことができなかつた方が、スクワットを毎日続けた結果、半年後に杖をつけて歩けるまで回復したと紹介があり、みんなでスクワットに挑戦しました。

今後もサロン活動がより充実するよう、地域の方と一緒に進めていきます。

## 参加者の感想

- ・今まで知らない内容を知ることができて良かった。
- ・サロンの大切さについて勉強になった。



↑足の付け根や、太ももに手を置いてスクワットをしてみましょう!!

きょうちゃんの

## お知らせリレー

今回は湯原を探検!!  
訪問介護北事業所からの  
活動紹介だよ!



真庭市社協イメージキャラクター「きょうちゃん」

## 自宅での生活をサポートする 訪問介護

訪問介護北事業所は、湯原保健福祉センター内(真庭市下湯原47)にあり、真庭市北部地域(湯原、美甘、蒜山)で唯一の訪問介護事業所です。

訪問介護員(ヘルパー)10名が自宅を訪問し、家事等の生活援助や入浴、排泄等の身体介護を行います。利用者は7月末で、湯原15名、美甘4名、蒜山32名です。

ご利用者やご家族の思いを尊重できるよう心がけ、多機関と連携しながら、ご本人の生活の維持向上を目指し、サービスを提供しています。

ご利用者からは「暑いのにありがとう」「来てくれるのを待ちよう」と喜んでいただいております。これからも、住み慣れた自宅で安心した生活が送れるよう、支援していきます。



↑私達がヘルパーです!!



←安心・安全なサービスが行えるよう、職員研修で技術の向上に努めています。

広報担当の  
つぶやき

9月20日は「敬老の日」です。高齢の方に日頃の感謝を伝え、長寿を祝う日です。コロナもあり、離れて暮らす祖母になかなか会えませんが、これからもずっと元気でいてほしいです。



真庭市社協HP